



事業者：青果物輸出拠点ネットワーク連携協議会

計画概要

青果物の輸出促進のため、関東・関西の輸出拠点整備を行い阪神港・京浜港等からの輸送効率を高めつつ、ロス率を低減する等の課題解決を図る。また、拠点機能の強化を通じ、全農系統の青果物の輸出について現地到着時の品質向上を目指す。

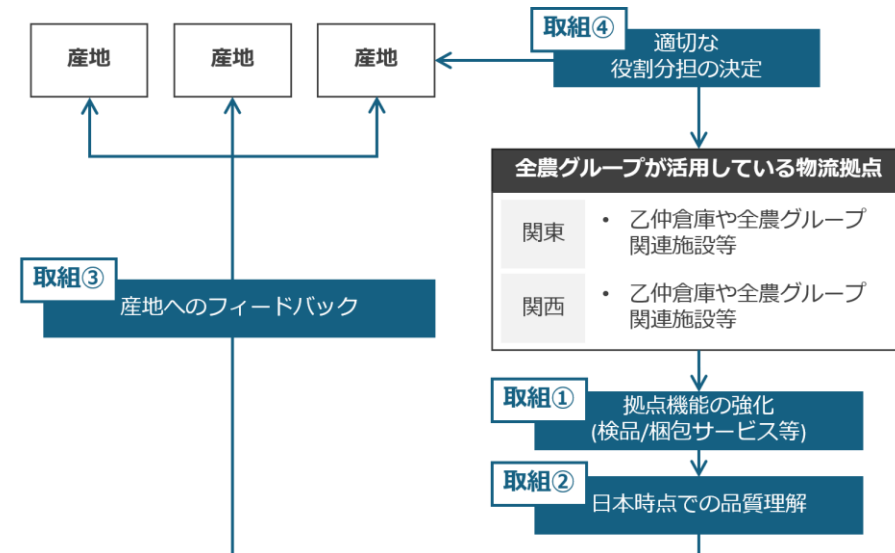
目標

協議会内輸出事業者による香港・シンガポール等向けの輸出額について、目標年度（2029年度）に、計画時の前年度（2025年度）の輸出額の30%増加を達成する。

食料システムへの寄与

青果物の輸出の取組により全農グループの輸出産地の物流の効率化及び品質管理のレベル向上をもたらす。これにより、産地の基盤強化を通じ、青果物の国内価格の安定や生産力の維持、生産者の所得向上を図ることができ、一次産業の発展等につながる。

計画のイメージ



(2026年6月17日認定)